

報道関係各位

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

ソニーと放課後NPOアフタースクールの教育格差縮小に向けた取り組み
「感動体験プログラム」2019年度上半期報告
93%の子が「新しい事に対してわくわくした」と回答

放課後NPOアフタースクール(東京都港区)とソニー株式会社(東京都港区)が協働で行う、子どもの「教育格差」縮小に向けた取り組み『感動体験プログラム』。今年度は関東・関西の25団体にプログラムを届けています。上半期の実施が終了し、参加者や実施団体担当者のアンケート結果から子どもの創造性や未知の分野への興味・感心の向上が見られました。

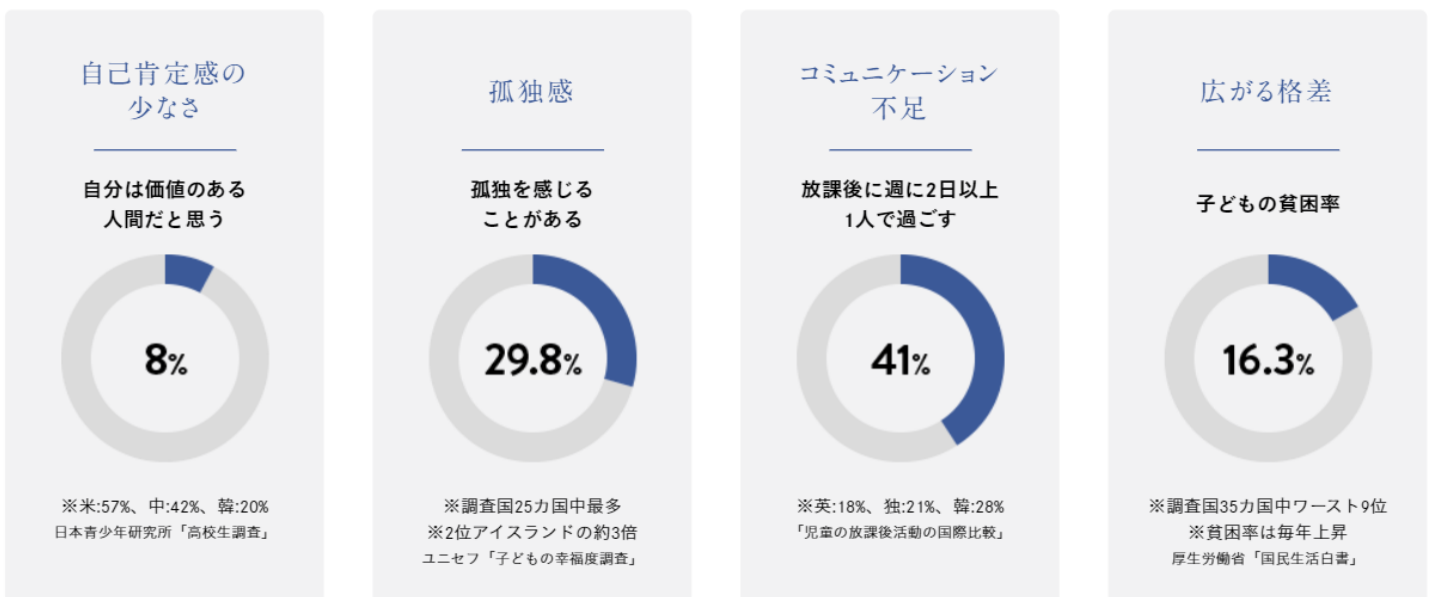
■日本の子どもの「教育格差」

近年、貧困や家庭環境、地域の違いなどの理由から、子どもの「教育格差」が広がっていることが国内の社会課題の一つとなっています。読み書き等の基礎学力を身につける学習機会だけでなく、創造性や好奇心、感性などを育む体験機会の差も生じています。

小学校低学年の子どもたちが学校外で過ごす時間は、放課後や長期休暇を合わせて年間1,600時間※1。学校の授業よりも長いこの時間における体験機会の差が、子どもたちの成長に与える影響は大きいと言われています。過ごす場所が限られた放課後、1人で過ごす放課後、やりたいことが出来ない放課後、そんな放課後が子どもたちの心を締め付けています。

※1：小学校低学年における放課後の時間および長期休暇の合計（2016年 全国学童保育連絡協議会調べ）

<調査から見る「日本の子ども」> 子どもの貧困率は毎年上昇、自己肯定感の低さ・孤独感の強さも顕著



■教育格差の縮小に向けた「感動体験プログラム」 2019年度は25団体で実施

「感動体験プログラム」ホームページ <https://npoafterschool.org/kando/>

「感動体験プログラム」はソニーグループの製品やコンテンツ、技術と教育現場の経験豊富な放課後NPOアフタースクールの強みを掛け合わせ、STEAM※2分野に関連したワークショップを実施することで、日頃体験機会が十分ではない子どもたちに感動体験を提供し、好奇心や創造性などの向上をサポートします。

昨年度からトライアルを開始し、今年度は関東（東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城）と関西（大阪、京都）の25団体で実施しています。9月までの上半期ではのべ**223名**の小学生が本プログラムに参加。プログラムを通じて新しいことへの挑戦意欲や表現することに対する向上心が見られました。

※2：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の略

感動体験プログラム



program 1

4Kプロジェクターによる
圧倒的な迫力映像！

VR空間
「Warp Square」で
異文化体験



program 2

誰でもカンタン、楽しさ無限大！
アイデアをカタチに

プログラミングブロック
「MESH」で
心を動かすモノづくり



program 3

自分で描いた絵が動き出す！
プロのテクニックを間近で学べる

オリジナルアニメ
ワークショップ



program 4

歌やダンスをプロが基礎から伝授！
最後はみんなで発表会

ミュージカル
ワークショップ



program 5

たくさんの“びっくり”や
“不思議”に出会えるスペシャルショー

見て、聞いて、作って
わくわくサイエンス



program 6

未来を考えるっておもしろい！
人生を計画するコツを学ぼう

みらいの夢
ワークショップ



program 7

はじめてでも
わかる！できる！おもしろい！

プログラミングの旅

ソニーの技術や
コンテンツを活かした
7種類のプログラム

感動体験プログラムの特徴



Point 1

ソニーの特色を活かした
多様なプログラム！



Point 2

関東、関西の公立小学校の
放課後に無料でお届け！



Point 3

全学年向けから高学年向けなど、
幅広いラインアップ！

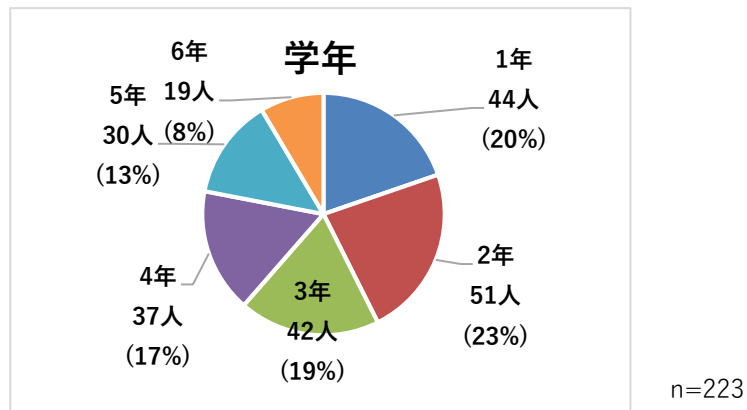
プログラムは
すべて無料
でお届けします！

ワオ！ 感動！！

感動体験プログラム [2019年上半期(7~9月)実施参加者アンケート結果]

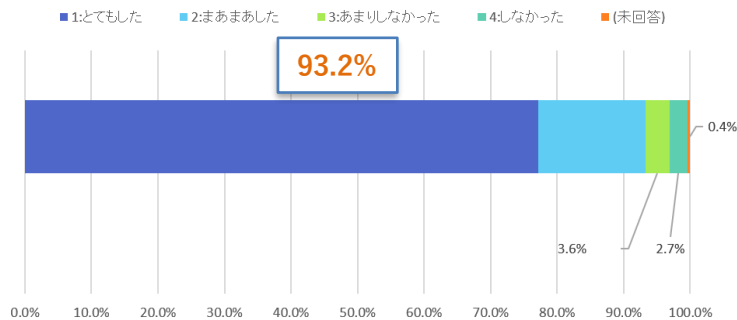
プログラム実施後にアンケートを実施。参加人数：合計223名

●参加者属性



●新しいことに対する子どもたちの好奇心がアップ

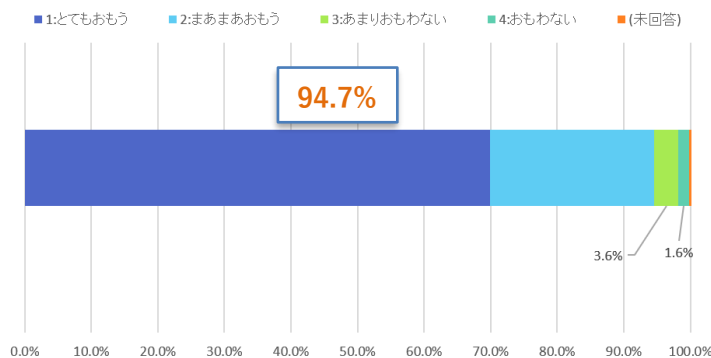
Q. プログラムに参加して、知らないことや新しいことに会ってワクワクしましたか？



「とてもする」
「まあまあする」
93.2%

●子どもたちの表現することに対する楽しさ、興味がアップ(創造性)

Q. 自分で表現することが楽しいと思えましたか？



「とてもおもう」
「まあまあおもう」
94.7%

●子どもたちの声 「もっとやりたい！大好きになった」

「もっと科学の仕組みについて知りたいです。工作や光のことが知れてよかったです。」(サイエンスショー)

「はじめはとてもドキドキしてできなかったけど、踊りがとても好きになりました。」(ミュージカル)

「参加してよかったなと思ったし、次は家の困りごとについて発明したい。がんばりたいです。」(プログラミング)

●実施団体担当者の声 「”子どもの力”を改めて感じた」

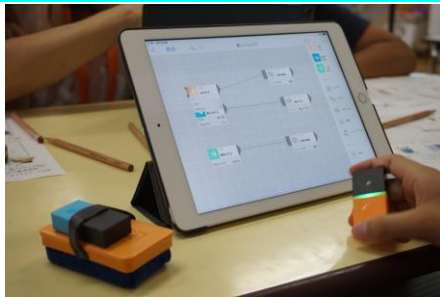
「友だちの絵や作品を見て褒めていたり、共感したりしている姿がみられました。」(アニメ)

「今の子どもたち、物はあふれていますが、体験活動を経験する機会が少ないように思います。今回のような体験はとても貴重だと思います。」(サイエンスショー)

「スタッフも忘れていた【子どもの力】を見せてもらったようで感動しました。」(ミュージカル)

感動体験プログラム 実施レポート

2019年8月5日 & 9日 「MESHで発明！学校生活を便利にするアイデアが登場！」



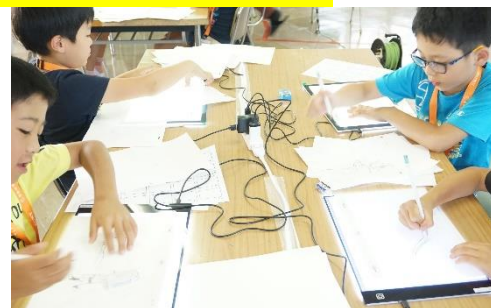
杉戸町立高野台放課後児童クラブにて、感動体験プログラム「MESHで発明家になろう！」を実施しました。アイデアを形にするIoTプログラミングブロックMESHを使い、学校生活の悩みを解決＆便利で楽しくする発明を考えます。「トイレトペーパーがなくなったら教えてくれる仕組み」などユニークなアイデアがたくさん出ました！

2019年8月30日 「わっ！と驚く光の不思議。知ると楽しい光の三原色」



足立区の桜花住区センター内にある桜花学童保育室にて、「サイエンスショー～光の仕組み～」を実施しました。「光の三原色」について不思議な実験を通じて楽しみながら学び、光が分かれて虹のように見える「キラキラスコープ」の工作を行いました。お友達と交換してスコープを覗いたりとても楽しんでいました！

2019年9月18 & 25日 身体を動かしてじっくり観察！オリジナルアニメづくり




神奈川県川崎市東柿生小学校わくわくプラザにて「オリジナルアニメワークショップ」を実施しました。2回のワークショップを通じて「アニメーションの基礎」を学び、最後はオリジナルのアニメーションを完成させます。子どもたちは、「イモシの体ってどう曲がるんだっけ？」などと試行錯誤しながら取り組みました。

子どもたちの健やかな成長のために～放課後改革に挑戦～

昨今、学童保育の不足が社会課題として深刻化。子どもにとっての学びある豊かな時間が保証されていない現代の放課後は、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感を低下させています。

私たちは、学校施設を活用し、地域の大人＝「市民先生」と共に本物の技や知恵を子どもたちに届けるアフタースクールを展開。また、様々な企業等と協働し、社会全体で子どもを育てることに挑戦しています。（年間のべ20万人以上の子どもが活動に参加）

アフタースクール開校数：20校／連携企業200社以上／市民先生5,000人以上

アフタースクール、全国で！  放課後 NPO アフタースクール

本件に関するお問合せ先

特定非営利活動法人
放課後 NPO アフタースクール
後藤

TEL: 03-6721-5043

MAIL: press@npoafterschool.org